

友和

NO.576

発行日 令和7年4月1日

発行 社会福祉法人 友和の里
〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP：<http://yuuwanosato.com/>

発行者 理事長 河野義刀



写真は4年前の4月1日の友和の里の風景です。下川真稔さんが撮影された写真です。この年にフレンドホームゆうわがスタートしました。「職員一同、初心を忘れず、力を合わせて利用者さんの幸せづくりに貢献していきたいと願っています」と下川さんのコメントが残っています。

先月下川さんとの突然のお別れに直面し、友和の里は悲しみに包まれました。今はまだ下川さんのほがらかな笑顔やダジャレトークが恋しいです。友和の里をかこむ野山の風景は春になり少しずつ動き始めています。桜の季節もやってきました。出会いや別れの季節でもある4月がスタートしました。私たちを取りまく社会、時代、環境などはこれまでもそうだったように待たなして変化し続けていきます。それでも楽しかったことやうれしかったこと、一緒にすごした思い出はいつまでも誰の心にも残っていくことでしょう。



2025.3.31 撮影
一部咲きの桜の木の下で

入所部 | 日中活動 活動グループ紹介 (2025.4.1)

ホップ 今年度も昨年度同様、体力低下や筋力低下による機能低下を防ぐために、維持することを目標にしています。それぞれに合った運動や課題を、理学療法士が行っているリハビリの情報を基に取り入れ、利用者職員ともに頑張っていきたいと思っています。ホップリーダーコメント 運動が楽しめるように、音楽や手拍子など工夫しながら体を動かせる活動をめざしていきます! (生活支援員 西川 瑠梨)

ジャンプ 今年度は、オリジナルグッズを作成し販売できるよう準備していきたいと考えています。それに伴い、活動内容を製品作りの練習として、皆さんにビーズ通しをしていただこうと思います。運動もこれまで通りウォーキングを行っていきます。ジャンプリーダーコメント 最初は各利用者に合ったビーズのサイズを検討してビーズ通しを行っていき、最終的にはサイズ、色分け、形等、指示された順番に通していただけたらと思っています。利用者さんが楽しく行えるように焦らずゆっくりと行っていこうと思います。(生活支援員 荒川 渡)

ステップ 今年度も昨年度同様に、タオル干しや計算や文字練習など、それぞれに合った活動を提供していきたいと思っています。その中で色々な新しい活動・課題に取り組んでいきたいと思っています。また、活動を落ち着いて行えるよう、パーテーション等の環境も随時整えていきたいと思っています。ステップリーダーコメント 利用者の特性を理解し深めながら、楽しく活動や課題に取り組んで活動を通して発散に繋げていけるようにしていきたいと思っています。

(生活支援員 検校 司)



ステップ



ジャンプ



ホップ

ホップ・ステップ・ジャンプグループで利用者さん職員共に一年間一緒に元気に活動が出来て各グループとも充実した一年になりました。



ジャンプは、ちょっとオシャレに利用者さんが大好きなメニューも多くデザートも多くて美味しそうという事で3月3日(月)に阿品のマリオデイマールへ行きました。当日は雨の予報でしたが、なんとか雨が降ることなく無事にいく事が出来ました。パスタを頼まれた方、ピッツアを頼まれた方、食後のケーキと、あつという間に食べられていました。皆さん美味しそうに食べられていました。



療育班 ゴム入れ作業と自立課題を中心に活動を行っています。月曜日の午前中は運動の日になっており、ウォーキングや室内運動をしています。今年度は新しく「畑づくり」も始めます。美味しいものができるといいですね。

貝通し班 日々作業を続けることで得られる達成感や、落ち着いた気持ちで日中活動できる環境作りを大切にしていきたいと思えます。また、就労継続支援B型の皆さんとも作業をしていくなかで、一緒に成長していけたらと思います。よろしくお願いします。

創作班 今回は創作班での活動内容を紹介します。シートからウエスを作る作業をしています。シートを割く、糸を取る、畳む、梱包するという4つの工程に分けています。主に糸を取る、畳むという工程を中心に利用者の特性や好みに応じて分担作業してもらっています。

このたび、フレンドホームゆうわに新しく**李鎬烈(りほより)**さんをお迎えしました!李さんは、明るく笑顔いっぱいなお人柄で、すでに入居者のみなさんと笑顔で交流されています。これから一緒に素敵な時間を過ごしていきましょう。どうぞよろしくお願いします。



あたらしい

字：武永 浩徳

陶芸班 陶芸班では引き続き干支作りと小物作り、草木染め、ゴム入れ作業・自立課題を行なっていきたく思います。もう干支の型流しも始めています。外部へ販売に出かけることを少しずつ増やしていきたいと思っています。今年度もよろしくお願いします。

あたらしい利用者さん

4月から通所部に新しい仲間が増えました。**浴資充(えきもとみつ)**さんです。浴さんのお母さんからいただいたコメントをご紹介します。『オフロスキーやちびまる子ちゃんといったキャラクターや音楽が好きです。また、毎日ウォーキングを楽しんでいます。これからどうぞよろしくお願いします!』



【慰労会】

慰労会とは、一年間元気に参加できたことをねぎらう為に毎年企画されています。2月から3月にかけて各グループで食事会に出かけました。

ホップは2月27日(木)湯来町にある「花カフェまつりのじ」へ行きました。ゆっくり食事を楽しめるお店でホップグループにピタリではと職員からお勧めがあったお店でした。利用者さんは朝から楽しみにされていました。天候に恵まれ、ドライブを楽しんだ後、食事を美味しく、食べられ、笑顔が多く見られる一日でした。また、貸し切りにして頂いたことにより、ゆったりと落ち着いて過ごせました。



ステップは3月14日(金)に戸河内にある「道の駅 来夢とごうち」へ行きました。このグループの利用者さんには選べるものが多くて楽しめる場所を選びました。当日は天候も良く外出日和でした。道の駅では各々食べたいものを店舗の前で指差して教えて下さったり、「○○食べたい!」と伝えてくださいました。たくさん食べることができ満足していました。道中もドライブを楽しまれて、充実した一日でした。

新体制

2025

新年度がスタートいたしました。令和7年度は第3グループホームの開設準備が大きな仕事となり、法人規模はさらに拡大していきます。また、虐待防止に関する取り組みの強化や人材確保・育成について重点的に取り組みます。事業所運営については、新体制のもと、役職員一同、よりいっそう手を取り合いながら法人理念に基づき、より良い支援、質の高いサービスの提供に努めて参ります。みなさまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

下表は新体制におけた人事異動のお知らせです。「^{ゆうわ さと かよ}友和の里に通ってよかった」「^{せいかつ}生活してよかった」と利用者さんに思っただけのような、よりいっそうの支援をめざしていきます。そのためにも利用者ひとりひとりの特性や背景をふまえた計画をたてること、そしてその計画を実行するために職員がチームとなって取り組むこと、そのための話し合いを重ねていくこと、これらを踏まえて引き続き支援を行ってまいります。

人事異動（令和7年4月1日付）

異動職員	異動後	異動前
おとほら りょう 乙原 亮	通所部事業部長 通所部サービス管理責任者	共同生活援助事業所事業部長 共同生活援助事業所サービス管理責任者
かわくぼ たかこ 川久保 貴子	共同生活援助事業所事業部長	共同生活援助事業所主任
やまだ のりゆき 山田 憲志	通所部主任生活支援員	共同生活援助事業所生活支援員
すどう ようこ 須藤 洋子	共同生活援助事業所主任 共同生活援助事業所サービス管理責任者	通所部事業部長 通所部サービス管理責任者
どうめん なみ 堂面 なみ	入所部生活支援員	通所部生活支援員
よりお ひろたか 寄尾 博孝	共同生活援助事業所生活支援員	通所部生活支援員
きむら のぶひろ 木村 信広	共同生活援助事業所生活支援員	入所部生活支援員

◆職員退職のお知らせ

令和7年2月28日付 相談支援専門員 ^{せんだ くみこ}千田 久美子さん

令和7年2月28日付 運転手 ^{きはら くにあき}木原 國明さん

令和7年3月31日付 フレンドホーム世話人 ^{くらぞの るみ}蔵園 留美さん



作者 申ノア

トピックス

【フレンドホームゆうわ夕食会】

3月20日にわたや峠店で年度末食事会を行いました。わたや峠店は、個室で車イス等へも配慮して頂けるため利用者のみなさんも安心して食事ができます。事前にメニューを見て決めて頂いていたので、到着してからスムーズに食事ができました。目の前に食事が並び、パツと表情が明るくなり、美味しそうに食べておられました。「これみてみんさいー」と職員に自慢げに見せてくれる方もいました。今年度もみなさんと頑張る事ができました。来年度もまた、入居者の皆さんと楽しく生活していけたらと思います。

(生活支援員 吉村 愛)



【グループホームゆうわ夕食会】

3月20日(木)の春分の日、年度末食事会を開催しました。食事会の前にドライブに行きました。自然の中のドライブも良いですが、今回は街へ繰り出し、新しく出来たエディオンスウイング、広島城周囲をジュース片手に市内観光をしました。目的地へ近づくと「あっ！大きい(建物)」「お城だあー！」と街中の様子を楽しまれていました。そして、今年度の食事会のメインである鰻丼をテイクアウトしグループホームでいただきました。準備している時は「鰻だ！」「食べてもいい？」等、色々な声が上がっていましたが、いざ食事が始まると皆さん静かに黙々と食べられていました。本当に美味しい食事を食べる時は静かになるものですね(私もそうですが、♪)鰻で精をつけ、来年度も健康で楽しい一年を過ごしていきたいと思っています。

(生活支援員 山田 憲志)



【わたしのアート展】

ウッドワン美術館で開催された「わたしのアート」展に3月21日(金)に作品展示されている。沖田青子さん黒河啓介さん郡司雅敏さんの3名と一緒に鑑賞に行ってきました。展示している作品は令和6年度入所部のアート活動時に利用者の皆さんが取組まれた作品を、ウッドワン美術館の職員の方に選んでいただき展示となりました。美術館で鑑賞する作品はどれも、心が和むように語りかけてくるような「わたしの」がピタリな作品ばかりでした。「素敵だね」と話しかけると少し照れた顔も：また良い表情でした。

(入所部部长 浜先 ひろこ)



【入所部レクリエーション協力してお雛様】

3月のレクリエーションでは、みんなで協力してお雛様とお内裏様を作成しました。各グループごとに異なる雛飾りになったのですが、材料には折り紙やクッション材を使って貼り付けたり色塗りをして完成することができました。ポンポン貼っていく人や、丁寧に貼っていく人、10人十色ですが、完成したお雛様は見ごたえがありました。(生活支援員 田代 師世江)

【開所日ワクワク通信】

3月の開所日は、桜の木の花の貼り絵を行ないました。各作業班で分かれて色塗りの桜の花びらや、一言メッセージを描いた桜の花びらを貼り、満開の桜の木が出来上がりました。春の宴の時に展示しますのでご覧ください。

(生活支援員 堂面 なみ)



手書きの文字は石田亮さんの字



はつかいち福祉ねつどの福祉の魅力伝えますワーキングで作成したポスターをご紹介します。この活動の目的は、福祉分野での人材不足を解消するために、福祉の魅力をより多くの人に知ってもらうことです。このポスター作りには友和の里の利用者さんにもご協力いただきました。令和7年度には、このポスターを様々なイベントで配布したり、SNSを通じて発信する予定です。若者から高齢者まで幅広い世代に福祉の魅力を伝えるためのツールとして役立てばと考えています。(相談支援専門員 三村 明美)

※はつかいち福祉ねつどは、障害者総合支援法の規定により、障がいのある人などの支援体制の整備を図るため設置された協議会です。



【友和市民センターまつり】

友和市民センターまつり(3/9)に作品出展しました。陶芸班作成の陶芸小物と木製箱、佐藤和子さんの絵を展示し、地域の方にみていただきました。

【研修報告】

広島県知的障害者福祉協会 文化・芸術活動の部 参加報告

事例報告会に参加し、友和の里からも椅子にまつわる事例を発表しました。今回のテーマは身体を使った「遊び」について。各事業所から9事例が集まり、絵や立体などの造形表現をしない人に着目した、身体を使ったルーティンや日常的な癖などの報告となりました。壁紙ががしを日常的に行っている事例、お気に入り的小物をしばらく身に着けると分解してしまう事例、草抜きが得意だった山で迷子になってから草抜きが難しくなり居室の破壊行為が始まった事例など発表がありました。

意見交換では「職住分離」について話が出ました。厚生労働省も強くうたっている障がいのある人の日中の過ごし方については、夜間の生活の場と日中の活動の場をわけること。それによって、障がいのある人も通常の地域生活にちかひ暮らしを送れるようになる。日中できることをさらに検討すること、これしかないという八方塞がりな状況が問題になっているのではないかなど意見が交わされました。(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

【佐伯国際アーチェリーランドにて】令和6年度広島県身体障害者アーチェリー記録会(3-29)に宇吹伸二さんが参加しました。幅広い年齢層に囲まれて競技は行われたと宇吹さんは教えてくれました。桜も咲いていたそうです。宇吹さんのチャレンジ、これからも応援よろしく願います!



【河野理事長とお出かけ】

ウッドワン美術館(廿日市市吉和)へ行ってきました。入所部の利用者さんの作品13点をぜひ見に行きませんかと理事長をお誘いしました。車中CDを聴きたかった小関孝一さん、少し不安顔だった浅香亮治さんと、総勢4人で残雪のある山道をのぼって向かいました。おしゃべりがはずむ小関さん、以前は歌を歌いによく出かけていた。また歌を歌いに出かけたいと思いを教えてくれました。外出中は表情今ひとつだった浅香さん、翌日顔を合わせると满面笑顔の表情でした。「昨日楽しかったね」と声をかけるとしつかり頷いてくれました。





下川真稔常務理事のご逝去について

謹んでお知らせ申し上げます。社会福祉法人友和の里常務理事の下川真稔氏が令和7年3月6日に永眠されました。享年71歳でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

下川常務理事は誇りを持って福祉の仕事に励んだ御方でした。業務能力はもちろんのこと、お人柄の良さを法人内の雰囲気をもろくしてくださり、チームの和を大切にされていました。友和の里では、平成23年から評議員、平成29年から理事、令和3年からは常務理事として法人運営のために長くご尽力戴きました。ご利用者、役職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。ここに生前中賜りましたご厚誼に深く感謝申し上げます。

下川常務理事との急な別れをまだ信じられずにはありますが、故人の遺志を引き継ぎ役職員一同一丸となって皆様に信頼していただける法人運営に努めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 友和の里
理事長 河野義刀

下川さんとと

はなしを聞いたかった

利用者さんに聞き取りしました

朝ごはんの時に下川さんが亡くなったので黙祷しようと思つた。川久保さんが言ったのを聞いて嘘だろうと思つた。耳を疑った。下川さんの後を受け継ぐような人を探してくれんかと思う。僕の希望です。まだ話したかった。いつも朝で、時間がなかった。どうか安らかに眠りください。

(利用者 武永 浩徳)

下川さんと、競馬の話をした。競艇の話もした。「女のみち」うたうような話もした。川本さんに会いたい。

(利用者 小関 孝一)

下川さんの葬式に行った。ずっと前から下川さんを知った。さみしい。まさか亡くなると思わなかった。お母さんが葬式に連れて行ってくれた。お別れをした。フレンドホームに朝来てくれた。

(利用者 村岡 詳平)

けんしん学園の話を下川さんに聞いていた。あいプラザの話もした。下川さんと話をしたのはのしかった。

(利用者 所 静華)

下川さんありがとう

職員に聞き取りしました

下川さんと自分の父親が中学校の同級生だったので、「お父さん元氣？」と声を掛けてくださり父の話をしていた。

話しやすく、かしこまって話もしなくてもいい安心感がいつもあった。

報告書を読んでの感想やアドバイスをもらった。利用者・職員誰にでも挨拶をしてくれ、その人に合わせた挨拶だった。

笑顔で作業を覗きにこられ、利用者さんに声をかけてくれました。

湯来町の話が多かった。通勤は湯来を通ってくる下川さんで、懐かしみながら話をしてくれました。

花瓶の花を入れ替えると「いつもありがとうございます」と言ってくれていた。感謝の気持ちを表してくれる人だった。

宮島競艇の救助艇に乗っていた頃の話も聞いてくれた。仕事に慣れるまで気にかけてくださった。声をかけてくれました。

五日市の夏まつりのお手伝いに呼んでもらってかき氷をしに行きました。思い出に残っています。分け隔てなく接してくれて、何かあったら声をかけてくれました。

花が好きな人だった。情の厚い方だった。

文章をチェックしてくれ、細かいミスが失敗につながることを指摘してくれました。

出勤されると、作業小屋によっておはようございますと言われた。山の作業を気にかけてくれ、下川さんが好きな在来種の植物の話をよくしていた。

場を和ましてくれて、コミュニケーションを大事にしてくれていました。

いつもにこやかで、優しい声かけをくれた。

ユーモアのある人で人柄のいいひとだった。リラックスさせてくれた。

「砂谷の人を大事にしてね」といつも声をかけてくれた。

家が近所だったこともあり地区の夏祭りに誘ってくださり、子どもを連れて遊びに行かせて頂いた。体調が悪かった時も会うたびに声をかけてきにかけてくれ、旅行に行った時の話や写真を見せて下さった。

下川さん、いつも気にかけてくださり、優しい言葉をかけてくださった。その姿が忘れられません。ユーモアあふれるダジャレや冗談で笑顔にしてくださいました。福祉の理念について真剣に語り合ったり、友和の里の利用者様の素敵探しを競い合ったこともありましたね。温かい心遣いや深い思いやりを肌で感じ、たくさんさんの貴重な時間を共有させていただきました。常務理事と一般職員という枠を超えて、一人の人間として接してくださいましたこと、心から感謝しております。

お酒が好きな方で一緒によくお酒をのみにいきました。隣席の人とすぐ友達になったり、いいお酒の飲み方をされていました。

四月

ゆうわ さとぎょうじよてい
友和の里行事予定

- 4/1/ 火 入所式
- 4/8/ 火 お楽しみ会（入所）
- 4/9/ 水 体重測定（入所）
- 4/11/ 金 春の宴
- 4/11/ 金 夕食会（GHFH）
- 4/19/ 土 開所日（通所）
- 4/22/ 火 夕食会（入所）
- 4/29/ 祝 昭和の日
- 4/30/ 水 掃除の日（入所）

		1	2	3	4	5
		1 にゅうしょしき				
6	7	8	9	10	11	12
		8 おたのしみかい			11 はるのうたげ	
			9 たいじゅうそくてい		11 ゆうしょくかい	
13	14	15	16	17	18	19
						19 かいしよび
20	21	22	23	24	25	26
		22 ゆうしょくかい				
27	28	29	30			
		しょうわ 昭和の日	30 そうじのひ			

ゆうわ
友和の里
さと
では
たら
いて
いま
す

Q. なぜ友和の里へ

前職の営業先で福祉の職場を見る機会が増えていった。そこで興味を持ち、福祉で働いてみたいと思った。病院でしばらく介護の仕事について、その後友和の里に入職。現場での生活支援業務に加えて、「地元」をもりあげたいという自分の気持ちがうまくマッチングしている職場だったから。

しょくぱん
インタビュー

Q. 働いてみて

働きやすいです。人間関係がいい職場。働き始めて今年 10 年目を迎えます。グループホームでは細やかなサービスが提供できるのやさしいことに気がつくことができます。



生活支援員 ながなか たかひろ
永中 崇裕さん

Q. 保護犬について

家で保護犬のあずかりボランティアをしています。7 匹のお世話をしている。これからも続けていきたい。

Q. これから

同じ町に暮らしている人の中に障がいのある人もいて、障がいがあっても変わらない人だと地域の人に知ってほしい。これからも地域のイベントごとに積極的に参加していきたい。

ご寄付の紹介



友和の里通所部保護者会さま
たくさんのご寄付を賜り厚くお礼申し上げます